

中国人民銀行「貸出市場提示金利(LPR)に関するQ&A」を公布

2019年9月、中国人民銀行は、『貸出市場提示金利(LPR)に関するQ&A』(以下「Q&A」)を公布し、LPR施行後よく質問される問題について回答しました。

弊行は、弊行業務に関わる問題を抜粋して、以下通りご共有させていただきます。

\*下記本文のLPRは2019年8月20日の発表値です。

中国語原文(抜粋)	日本語参考訳(抜粋)
<p>贷款市场报价利率(LPR)问答 中国人民銀行 2019年9月</p> <p>一、贷款市场报价利率(LPR)简介 <b>1.什么是贷款市场报价利率(LPR)?</b> 答:LPR是由具有代表性的报价行,根据本行对最优质客户的贷款利率,以公开市场操作利率加点形成的方式报价,由人民银行授权全国银行间同业拆借中心计算并公布的基础性的贷款参考利率。今后LPR将成为贷款利率定价的主要参考基准。</p> <p><b>2.为什么要了解LPR?</b> 答:长期以来,银行向客户发放贷款,利率都是按照央行公布的贷款基准利率,以“上浮xx倍”、“打xx折”的形式来确定。2019年8月17日,人民银行发布了改革完善LPR形成机制的公告,明确银行应主要参考LPR确定贷款利率。也就是说,以后银行发放贷款时,利率将按照LPR,以“LPR+xx个基点”、“LPR-xx个基点”(其中,1个基点=0.01%),或“LPR+xx%”、“LPR-xx%”的形式来确定。所以,无论是个人还是企业,在向银行申请贷款(经营贷款、流动</p>	<p>貸出市場提示金利(LPR)に関するQ&amp;A 中国人民銀行 2019年9月</p> <p>一、貸出市場提示金利(LPR)の紹介 <b>1. 貸出市場提示金利(LPR)とは何?</b> A:LPRは代表的な提示行が、自行の最優遇顧客に提供する貸出金利に基づいて、公開市場オペレーション金利に一定のスプレッドを上乗せして形成する提示金利。LPRは貸出ベース参照金利として、人民銀行に授権された全国銀行間同業コール取引センターによって計算、公布される。今後、LPRは貸出金利の主要参照基準となる。</p> <p><b>2.何故LPRについて理解する必要があるのか?</b> A:従来は、銀行が貸出を実行する際、通常人民銀行が公布する貸出基準金利に基づいて、「XX倍を上乗せ」、「XXの割り引き」との形式で貸出金利を決定。2019年8月17日、人民銀行はLPR形成メカニズムを改革・改善する通知を公布、銀行が主にLPRを参照して貸出金利を決定することを明確化。即ち、今後銀行が貸出を実行する際には、LPRを基準に「LPR+xxbp」、「LPR-xxbp」(1bp=0.01%)、或いは「LPR+xx%」、「LPR-xx%」の形式にて金利を決定。従って、個人・企業に問わず、銀行へ貸出(経営性貸出、流</p>

性贷款、房贷等)的利率,将主要以 LPR 加减点的方式表示。所以, LPR 与企业、居民的贷款利率直接相关,涉及切身利益,需要了解相关内容与最新动态。

### 3.LPR 什么时间公布?

答:自 2019 年 8 月 20 日起,每月 20 日(遇节假日顺延)9 时前, LPR 报价行根据本行对最优质客户的贷款利率,以公开市场操作利率加点形成的方式,向全国银行间同业拆借中心提交报价,全国银行间同业拆借中心按去掉最高和最低报价后算术平均,向 0.05%的整数倍就近取整计算得出 LPR,于当天 9:30 公布。

### 4.LPR 报价行都有哪些?

答:目前 LPR 共有 18 家报价行,包括工商银行、农业银行、中国银行、建设银行、交通银行、中信银行、招商银行、兴业银行、浦发银行、民生银行 10 家全国性银行,西安银行、台州银行 2 家城市商业银行,上海农商行、广东顺德农商行 2 家农村商业银行,渣打银行(中国)、花旗银行(中国) 2 家外资银行,微众银行、网商银行 2 家民营银行。今后人民银行将指导市场利率定价自律机制定期对 LPR 报价行进行评估调整。

### 5.怎么保证 LPR 的权威性?

答:首先, LPR 的报价行都是符合宏观审慎管理要求、财务状况良好,且在同类型银行贷款市场中有较强影响力、具有较强定价能力的银行。这些银行的报价具有较强的代表性,能够充分反映市场利率的变化情况。

其次,人民银行将指导市场利率定价自律机制,按照对报价行的报价质量进行考核,重点考察报价行报价的真实性、有效性,坚决杜绝违规报价行为。人民银行还将指导市场利率定价自律

机制(流动性贷款、住宅ローン等)を申請する場合、貸出金利は主に LPR にスプレッドを加減の方式にて表示。LPR は企業・個人の貸出金利と直接的に関係し、借入人の利益に影響するものであり、関連内容と最新動向を理解して頂く必要がある。

### 3.LPR の発表時期は?

A:2019 年 8 月 20 日より、毎月 20 日(祝日の場合は順延)の 9 時前に、LPR 提示行は自行の最優遇顧客向けの貸出金利に基づいて、公開市場オペレーション金利に一定のスプレッドを上乗せする形式で全国銀行間同業コール取引センターへ金利を提示。全国銀行間同業コール取引センターは、最高・最低の提示金利を取り除いてから算術平均値を計算、0.05%の整数倍に一番近い数字まで捨入を行い、LPR の値を算出、当日の 9:30 に公布する。

### 4.LPR の提示行はどのような銀行?

A:現在、LPR 提示行は 18 行、全国性銀行 10 行(工商銀行、農業銀行、中国銀行、建設銀行、交通銀行、中信銀行、招商銀行、興業銀行、浦発銀行、民生銀行)、都市商業銀行 2 行(西安銀行、台州銀行)、農村商業銀行 2 行(上海農商行、広東順徳農商行)、外資系銀行 2 行(スタンダードチャータード銀行(中国)、シティバンク(中国))、民営銀行 2 行(微衆銀行、網商銀行)を含む。今後は、人民銀行は市場金利形成自律メカニズムへの指導を通じて、定期的に LPR 提示行に対して評価を行い、メンバーを調整。

### 5.LPR の權威性はどのように確保されるのか?

A:まずは、LPR の提示行はマクロ運営評価の管理要求を充足、財務状況が良好、且つ同セグメントの銀行貸出市場での影響力が比較的強く、価格交渉能力も比較的強い銀行である。これら銀行の提示金利は著しい代表性を持ち、市場金利の変化状況を十分に反映出来るもの。

次に、人民銀行は市場利率形成自律メカニズムへの指導を通じて、提示行の提示金利品質を評価していく。特に提示金利の真実性・有効性を重点的に考査。こ

机制，根据考核结果，定期对报价行进行优胜劣汰，确保 LPR 报价质量。

最后，LPR 由人民银行授权全国银行间同业拆借中心计算并公布，公众可以通过全国银行间同业拆借中心和人民银行网站查询。

### 6.目前 LPR 有哪几个期限品种，利率水平分别是多少？

答：目前 LPR 有 1 年期和 5 年期以上两个期限品种。2019 年 8 月 20 日公布的 1 年期 LPR 是 4.25%，比 1 年期贷款基准利率下降了 10 个基点，比原来的 LPR 水平下降了 6 个基点。5 年期以上 LPR 为 4.85%，比同期贷款基准利率下降了 5 个基点。

### 7.在哪里可以获取最新的 LPR 信息？

答：LPR 信息会定期发布在全国银行间同业拆借中心和人民银行网站上。具体地址分别为：一是全国银行间同业拆借中心网站（www.chinamoney.com.cn）中的“贷款市场报价利率”栏目。二是中国人民银行网站（www.pbc.gov.cn）首页右侧中部的“贷款市场报价利率（LPR）”栏目。

### 8.LPR 和贷款基准利率有何区别？

答：贷款基准利率是由人民银行不定期调整并公布的。LPR 则是由报价行根据本行最优质客户执行的贷款利率报出，并由人民银行授权全国银行间同业拆借中心计算并发布的利率。相比贷款基准利率，LPR 的市场化程度更高，更能反映市场供求的变化情况。

### 二、金融机构如何运用 LPR 进行定价

### 9.LPR 和借款人实际支付的利率是什么关系？

答：LPR 是贷款定价的参考利率，借款人实

际上，不正常的金利提示行为被严格限制。另外，人民银行是市场利率形成自律机制的评估结果基础上提示行的淘汰、入れ替えを行い、LPR の提示品質を確保。

最後に、人民銀行は全国銀行間同業コール取引センターに対して LPR の計算、公布を授権。公衆は全国銀行間同業コール取引センター及び人民銀行のホームページから LPR の値を閲覧、検索出来る。

### 6.LPR の期間と金利水準は？

A: 現在、1 年と 5 年以上と 2 種類の期間がある。2019 年 8 月 20 日付 1 年物の LPR は 4.25%、1 年の貸出基準金利より 10bp 引下げ、従来の 1 年物 LPR より 6bp 引下げ。5 年以上の LPR は 4.85%、同期間の貸出基準金利より 5bp を引下げ。

### 7.どこから最新の LPR 情報を取得出来るのか？

A: LPR 情報は定期的に全国銀行間同業コール取引センターと人民銀行のホームページにて公布。ホームページのアドレスは:(1) 全国銀行間同業コール取引センター(www.chinamoney.com.cn)の「貸出市場提示金利」ページ (2) 中国人民銀行(www.pbc.gov.cn)のホームページの右側中部の「貸出市場提示金利(LPR)」ページ。

### 8.LPR と貸出基準金利の違いは？

A: 貸出基準金利は人民銀行が不定期的に調整・公布するもの。LPR は提示行が自行の最優遇顧客に対する貸出金利に基づいて提示し、人民銀行から授権された全国銀行間同業コール取引センターが計算・公布する金利である。貸出基準金利と比較して、LPR の市場化の程度がより高く、より市場供給の変化状況を反映出来るもの。

### 二、金融機構はどのように LPR を運用するのか？

### 9.LPR と借入人が実際支払う金利との関係は？

A: LPR は貸出金利の参照金利である。借入人が実際に支払う金利は LPR をベースとして、信用状況・担

际支付的利率要在 LPR 的基础上，综合考虑信用情况、抵押担保方式、期限、利率浮动方式和类型等要素，由借贷双方协商确定。具体表示方式应为在相应期限 LPR 的基础上加减点，例如：若经借贷双方协商一致，一笔贷款的利率表示为 1 年期 LPR-25 个基点（即 0.25 个百分点），而目前 1 年期 LPR 为 4.25%，则实际执行的利率为 4%（ $4.25\% - 0.25\% = 4\%$ ）；若经借贷双方协商一致，一笔贷款的利率表示为 5 年期 LPR+5 个基点（即 0.05 个百分点），而目前 5 年期 LPR 为 4.85%，则实际执行的利率为 4.9%（ $4.85\% + 0.05\% = 4.9\%$ ）。

**10.不同期限贷款应该选择哪个期限品种的 LPR 定价？**

答：目前 LPR 有 1 年期和 5 年期以上两个期限品种，1 年期和 5 年期以上的贷款利率有直接对应的 LPR 作为基准，1 年期以内、1 年至 5 年期贷款利率的参考基准，可由银行在二者之间自主选择。参考基准确定后，可通过调整加减点数值，体现期限利差因素。

**11.使用 LPR 定价时还能用原来的浮动倍数方式吗？**

答：此次改革我们对银行贷款定价方式作了调整，原则上银行不再使用原来的浮动倍数方式（即“LPR×xx%”或“LPR×xx 倍”）确定，而改用加减点的方式，即“LPR+xx 个基点”、“LPR-xx 个基点”或“LPR+xx%”、“LPR-xx%”确定。

**12.固定利率贷款应如何参考 LPR 定价？**

答：固定利率贷款在合同期限内利率水平保持不变，按照合同中明确的某个时间点或时间段的 LPR 加减点确定具体利率水平，利率水平一旦确定，直至借款到期日保持不变。

**举例 1：**一笔 1 年期固定利率贷款，合同约定在签订日前一日 1 年期 LPR 的基础上加 10 个

保方式・期間・金利変動方式・タイプ等の要素を総合的に勘案して、借入人と貸出人の間で協議の上に決定。具体的な表示方法は相応期間の LPR をベースとしてスプレッドを加減。例えば、借入人と貸出人の合意によって貸出金利が 1 年期 LPR-25bp（即ち 0.25%）と表示される場合、現在の 1 年期 LPR が 4.25%、実際の貸出金利は 4%（ $4.25\% - 0.25\% = 4\%$ ）となる。借入人と貸出人の合意によって貸出金利が 5 年期 LPR+5bp（即ち 0.05%）と表示される場合、現在の 5 年期 LPR が 4.85%、実際の貸出金利は 4.9%（ $4.85\% + 0.05\% = 4.9\%$ ）となる。

**10.異なる期間の貸出はどの期間の LPR を適用する？**

A: 現在、LPR は 1 年期と 5 年期以上との二つ期間がある。1 年期と 5 年期以上の貸出金利は直接に相応の LPR をベースとして参照。1 年期以内、1 年から 5 年期間の貸出金利参照基準は各銀行が自主的に 2 者のいずれかを選択出来る。参照基準を決定後、スプレッド加減の調整により金利の期間差を反映する。

**11.LPR を使う場合、従来の変動倍数の方式を引き続き使用できるのか？**

A: 本改革は、銀行貸出の金利決定方法を変更した。原則的に従来の変動倍数方式（即ち「LPR×xx%」或いは「LPR×xx 倍」）を使用せずに、スプレッド加減の方式（即ち「LPR+xxbp」・「LPR-xxbp」或いは「LPR+xx%」・「LPR-xx%」）を使用すること。

**12.固定金利貸出はどのように LPR を参照する？**

A: 固定金利貸出は契約期間内の金利が不変、契約書にて規定されるある日付或いは期間の LPR をベースにスプレッド加減を行い、具体的な金利を決定。金利が一旦確定後、貸出期限到来日まで変更しない。

**例 1:**期間 1 年の固定金利貸出の場合、契約書締結日前日の 1 年期 LPR をベースに 10bp（即ち 0.1%）

基点（即 0.1 个百分点）确定利率，而合同签订日前一日的 1 年期 LPR 为 4.25%，则该笔贷款在借款期内的利率水平为 4.35%（ $4.25\%+0.1\%=4.35\%$ ），并保持不变直至到期。

**举例 2：**一笔 5 年期固定利率贷款，合同约定在贷款发放日前一个月 5 年期以上 LPR 的基础上减 5 个基点（即 0.05 个百分点）确定利率，而贷款发放日前一个月的 5 年期以上 LPR 为 4.85%，则该笔贷款在借款期内的利率水平为 4.8%（ $4.85\%-0.05\%=4.8\%$ ），并保持不变直至到期。

### 13. 浮动利率贷款应如何参考 LPR 定价？

答：浮动利率贷款应在合同中约定以一定的时间周期按相应期限 LPR 加减某一确定的点差计算具体利率水平，利率随参考的 LPR 变动而浮动。

**举例 1：**一笔 7 年期浮动利率贷款，约定按季度重新定价，约定的点差为加 5 个基点（即 0.05 个百分点），参考的基准为贷款发放日或重新定价日前一日的 5 年期以上 LPR。贷款发放日为 2019 年 8 月 21 日，由于 8 月 20 日的 5 年期以上 LPR 为 4.85%，则第一个季度的利率为 4.9%（ $4.85\%+0.05\%=4.9\%$ ）；若 2019 年 11 月 20 日的 5 年期以上 LPR 为 4.75%，则自 11 月 21 日起的一个季度内，利率为 4.8%（ $4.75\%+0.05\%=4.8\%$ ）。以此类推。

**举例 2：**一笔 15 年期浮动利率个人住房贷款，约定在每年 1 月 1 日重新定价，约定的点差为加 20 个基点（即 0.2 个百分点），参考的基准为每年 12 月 20 日的 5 年期以上 LPR。合同签订日为 2019 年 8 月 21 日，由于 8 月 20 日的 5 年期以上 LPR 为 4.85%，则 2019 年 8 月 21 日至 12 月 31 日的利率为 5.05%（ $4.85\%+0.2\%=5.05\%$ ）；若 2019 年 12 月 20 日的 5 年期以上 LPR 为 4.9%，则 2020 年 1 月 1 日至 12 月 31 日的利率为 5.1%（ $4.9\%+$

をプラスすることが確定。契約書締結日前日の 1 年期 LPR は 4.25%、本件貸出の貸出期間内の金利が 4.35%（ $4.25\%+0.1\%=4.35\%$ ）となり、期限到来まで不変。

**例 2：**期間 5 年固定金利貸出の場合、契約書締結日の 1 ヶ月前の 5 年期以上 LPR をベースに 5bp（即ち 0.05%）をマイナスすることが確定。契約書締結日前 1 ヶ月の 5 年期以上 LPR は 4.85%、本件貸出は借入期間内の金利が 4.8%（ $4.85\%-0.05\%=4.8\%$ ）となって、期限到来まで不変。

### 13. 変動金利貸出は如何に LPR を参照するのか？

A: 変動金利貸出は契約書にて一定の周期で相応期間の LPR に一定のスプレッドを加減し、具体的な貸出金利を決定することを規定しなければならない。金利は参照ベースとなる LPR の変動によって変動する。

**例 1：**ある期間 7 年の変動金利貸出は、四半期毎の金利更新、スプレッドは +5bp（即ち 0.05%）、参照基準は実行日或いは金利更新日前日の 5 年期以上 LPR と約束。貸出実行日は 2019 年 8 月 21 日、8 月 20 日の 5 年期以上 LPR は 4.85% であるので、第一四半期の金利は 4.9%（ $4.85\%+0.05\%=4.9\%$ ）。そして、2019 年 11 月 20 日の 5 年期以上 LPR は 4.75% である場合、11 月 21 日から始まる四半期において、貸出金利は 4.8%（ $4.75\%+0.05\%=4.8\%$ ）となる。上記方法で類推。

**例 2：**15 年期変動金利の個人住宅ローンについて、毎年 1 月 1 日に金利を更新することを約束。約束のスプレッドは +20bp（即ち 0.2%）、参照基準は毎年 12 月 20 日の 5 年期以上の LPR。契約書の締結日は 2019 年 8 月 21 日の場合、8 月 20 日の 5 年期以上 LPR は 4.85% となるので、2019 年 8 月 21 日から 12 月 31 日までの金利は 5.05%（ $4.85\%+0.2\%=5.05\%$ ）となる。そして、2019 年 12 月 20 日の 5 年期以上 LPR は 4.9% となる場合、2020 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの金利は 5.1%（ $4.9\%+0.2\%=5.1\%$ ）となる。上記方法で類推。

0.2%=5.1%)。以此类推。

**14.相比贷款基准利率，参考 LPR 定价的利率水平会更低吗？**

答：目前，1年期 LPR 为 4.25%，低于 1年期贷款基准利率 10 个基点，5 年期以上 LPR 为 4.85%，低于 5 年期以上贷款基准利率 5 个基点。如果在 LPR 和贷款基准利率的基础上加减点幅度一样，那么参考 LPR 定价能在一定程度上节省客户的利息支出。但具体利率水平还要看借贷双方协商确定的加减点幅度。

**15.是不是所有贷款都必须参考 LPR 定价？**

答：按照人民银行的公告，金融机构新发放的贷款应主要参考 LPR 定价，LPR 要覆盖各类贷款。各家金融机构都要推广运用 LPR，在各类新发放的贷款中主要以 LPR 作为定价基准，不再使用原来的贷款基准利率。鉴于各家金融机构还需要进一步完善信息系统、修订合同文本，达到各类贷款全覆盖可能还需要一个过程，但银行应创造条件尽快使用 LPR 代替贷款基准利率定价。对于商业性个人住房贷款，根据中国人民银行发布的公告，2019 年 10 月 8 日起，新发放的商业性个人住房贷款都要参照 LPR 定价。一些金融机构在部分贷款中也在探索使用上海银行间同业拆借利率（Shibor）、债券收益率等作为参考基准，可以继续探索。

**16.每月 20 日 9:30 公布新 LPR 之前发放的贷款应参照前日期的 LPR，还是当天的 LPR 定价？**

答：每月 20 日的贷款可以参考当日新公布的 LPR 定价。若有需要，也可以由借贷双方自主协商选择具体参考某一天的 LPR，并在贷款合同明确约定。

**14.貸出基準金利と比較して、LPR を参照する金利はより低くなるのか？**

A: 現在、1 年期 LPR は 4.25%、1 年期貸出基準金利より 10bp を低くなる。5 年期以上 LPR は 4.85%、5 年期以上貸出基準金利より 5bp を低くなる。LPR と貸出基準金利をベースとして加減するスプレッド幅が同じの場合、LPR 基準を参照する貸出金利はある程度顧客の金利コストの削減につながる。但し、具体的な金利は借入人と貸出人の協議によって決定されるスプレッドに影響される。

**15.すべての貸出が LPR を参照しなければならないのか？**

A: 人民銀行の公告により、金融機構の新規貸出は主に LPR を参照すべきもの、LPR の利用範囲は各種類の貸出取引をカバーすべきもの。各金融機構は LPR の利用を推進し、各種類の新規貸出が従来の貸出基準金利ではなく、主に LPR を参照基準としなければならない。各金融機構がシステム、契約書フォーマットを変更する必要がある、各種類の貸出取引を全部カバーするまでに一定の時間かかると思われるが、できるだけ早期に貸出基準金利から LPR へ切替を実施すべきもの。商業性個人住宅ローンについては、中国人民銀行の公告により、2019 年 10 月 8 日から、新規商業性個人住宅ローンの金利も LPR を参照して決定することになった。一部の金融機構は一部の貸出について上海銀行間同业コール金利(Shibor)、債券収益率を参照基準として使用することを模索しているが、これは引き続き模索してもよい。

**16.毎月 20 日 9:30 の新 LPR 発表前に実行した貸出は、前日の LPR を参照するか、それとも当日の LPR を参照するか？**

A: 毎月 20 日の貸出は当日新公布の LPR を参照する。必要がある場合、借入人と貸出人が協議し、貸出契約書にて明確にある日付の LPR を参照することを約束することも可能。

**17.以前办理的参考基准利率的贷款是否要调整为参考 LPR 定价？**

答：在人民银行发布存量贷款参考基准转换办法前，存量贷款的利率仍按原贷款合同约定执行。也就是说，已发放的、已签合同未发放的贷款，原则上利率仍按合同的约定执行，不调整定价基准。对于有需要的客户，也可在与银行协商一致的前提下，将合同中约定的参考利率基准调整为 LPR。

**18.循环贷款、已签订的授信合同和贷款合同的贷款是否要调整为参考 LPR 定价？**

答：循环贷款合同签订日在 2019 年 8 月 20 日之前的，属于存量合同，在合同有效期内多次提款的，可按原合同约定的定价基准执行。8 月 20 日之前，已签订授信合同和贷款合同，并在合同中约定了参考基准的，也属于存量合同，可按原合同约定执行。8 月 20 日之后签订的循环贷款、授信合同和贷款合同，均属于新增贷款，原则上都要参考 LPR 定价。

**19.国家助学贷款、扶贫贴息专项贷款、民族贸易和民族用品生产贷款等特殊贷款是否参考 LPR 定价，利率是否受影响？**

答：有关政策中明确了参考基准的特殊类型贷款，目前仍按该类贷款的现行政策执行。人民银行已与相关政策制定部门进行沟通，将涉及贷款利率的参考基准调整为 LPR，待相关政策明确后再作相应调整。

**20.信托贷款、委托贷款等表外业务是否也要参考 LPR 定价？**

答：当前政策要求纳入 MPA 考核的新发放贷款主要是指银行业金融机构新发放的人民币贷款，信托贷款、委托贷款等表外业务也应主要

**17.過去に実行済の基準金利ベースの貸出は LPR ベースへ切替する必要があるのか？**

A: 人民銀行が既存貸出に対する金利参照基準切替弁法を發表する前は、既存貸出の金利は従来の貸出契約の規定に従う。即ち、実行済み貸出、契約書を締結済だがまだ未実行の貸出は原則的に、元契約書の規定に従って金利を決定、基準金利の調整はしなくてもよい。個別にニーズがある顧客は、銀行との合意を前提に、契約書にて規定する基準金利を LPR へ切替してもよい。

**18.リボルビング貸出、締結済の与信契約及び貸出契約書に基づく貸出は LPR への切替を行う必要があるのか？**

A: リボルビング貸出契約書の締結日が 2019 年 8 月 20 日より前の場合、既存契約に属するので、契約書有効期間内に複数回ローンを実行する際は元契約にて規定済みの基準金利で実行可能。8 月 20 日より前に締結の与信契約書或いは貸出契約書は契約書にて参照基準金利を規定している場合、既存契約に属するので、元契約の規定条件で実行可能。8 月 20 日以降に締結のリボルビング貸出契約書、与信契約書、貸出契約書は新規貸出契約に属するので、原則的に LPR 基準を参照すべき。

**19.国家助学貸出、貧困支援利息補助の専門貸出、民族貿易及び民族用品生産貸出等の特殊貸出は LPR を参照すべきなのか、金利への影響はあるのか？**

A: 関係政策にて参照基準が明確にされている特殊貸出は、現行政策に従って実行。人民銀行は関係政策の作成部門と相談を開始しており、貸出金利の参照基準を LPR へ切替えていく予定。関係政策が明確することを待ってから切替開始。

**20.信託貸出、委託貸出等のオフバランス業務でも LPR を参照するのか？**

A: 現在の政策上、MPA 評価に含まれる新規貸出は主に銀行業金融機構が実行する新規貸出を指しているが、信託貸出、委託貸出等のオフバランス業務も主

参考 LPR 定价。

**21.未来如果 LPR 变动，对贷款利率水平会有什么影响？**

答：改革完善 LPR 形成机制，旨在深化利率市场化改革，运用市场化改革的办法推动降低实体经济融资成本。但未来贷款利率水平将如何变化，将主要取决于经济基本面、货币政策、市场利率等因素。若市场利率整体下行，可能带动 LPR 下降，进而使贷款利率水平降低。而从单个客户获得的贷款利率看，还要考虑客户本身的信用资质、银行的资金成本、风险成本和市场供求等因素。

**22.LPR 每月调整，贷款利率是否也会每月变化？**

答：对于固定利率贷款而言，从借款日至到期日贷款的执行利率是固定的，不会随 LPR 调整而变化。对于浮动利率贷款，实际执行的利率将按照合同约定的重定价周期 LPR 的调整而变化。如合同约定按季重定价，贷款利率则会随 LPR 按季调整而变化。如约定按年重定价，若以合同签订日或贷款发放日满整年的日期作为对应日，贷款利率将随对应日的 LPR 调整而变化；若以每年1月1日作为重定价日，贷款利率则会在每年的1月1日随当时的 LPR 调整而变化。

(以下略)

に LPR を参照すべき。

**21.将来、LPR が変動すれば、貸出金利にどんな影響が発生するのか？**

A:LPR 算出メカニズムを改革・改善することは、金利市場化改革を深化させ、市場化改革の方法で实体经济の融資コストを引き下げることが目的。但し、将来に貸出金利がどのように変化するのは、経済基本面、通貨政策、市場金利等の要因によって決定。市場金利が全面的に低下すると、LPR も連動して引下げ、貸出金利も低下。ただし、個別顧客の貸出金利を見る場合、顧客自身の信用度、銀行の資金コスト、リスクプレミアム及び市場供給等の要因を勘案する必要がある。

**22.LPR が毎月に調整、貸出金利も毎月変更するか？**

A:固定金利貸出の場合、借入日から返済日までの貸出金利は固定、LPR の変動によって変更しない。変動金利の場合、実際の実行金利は契約書にて規定済の金利更新サイクルで、LPR の変動に従って変化する。契約書が四半期毎に金利を更新すると規定している場合、貸出金利は四半期毎の LPR 変動に伴って変化する。毎年金利を更新し、契約書締結日或いは実行日をスタート日として1年間隔で金利を更新していくと規定している場合、貸出金利は金利更新日の LPR 変動によって変化する。毎年1月1日を金利更新日として規定している場合、貸出金利は毎年の1月1日に LPR の変動によって変化する。

(以下略)

日本語参考訳：MUFG バンク（中国）有限公司 企画部

- ☞ 本資料は、参考のみを目的として、MUFG バンク（中国）有限公司(以下「当行」)が作成したものです。当行は、本資料に含まれる情報の適切性、完全性、又は正確性について、いかなる表明又は保証をしません。
- ☞ 本資料に記載されている情報及び意見のいずれも、預金、証券、先物、オプション、又はその他の金融商品又は投資商品の購入又は売却の申出、勧誘、アドバイス若しくは推奨をするものではなく、またそのように解釈されるものでもありません。
- ☞ 本資料に含まれる意見(あらゆる声明及び予測を含む)は、通知なしに変更される可能性があり、その正確性を保証致しかねます。本資料は、不完全又は要約されている場合もあり、本資料に掲げる当事者に関する重要な情報を全て網羅していない可能性もあります。当行（含む本店、支店）及び関連会社のいずれも、本資料を更新する義務を負いません。
- ☞ 本資料に含まれる情報は、MUFG バンク（中国）有限公司(以下「当行」)が信頼できると判断した情報源から入手したのになりますが、当行は、その適切性、適時性、適合性、完全性又は正確性について、いかなる表明又は保証をせず、一切の責任又は義務を負いません。したがって、本資料に記載されている評価、意見、見積り、予測、格付け若しくはリスク評価は、当行による表明及び/又は保証に依拠されるものではありません。当行（含む本店、支店）及び関連会社並びに情報提供者は、本資料の全部又は一部の使用に起因するいかなる直接的又は間接的な損失又は損害について、いかなる責任を負いません。
- ☞ 過去の実績は、将来の業績を保証するものではありません。本資料に含まれるいかなる商品の業績の予測について、必ずしもその将来実現する又は実現できる業績を示すものではありません。
- ☞ 当行は、本資料の著作権を保有し、当行の書面同意なしに本資料の一部又は全部を複製又は再配布することが禁止されます。当行（含む本店、支店）又は関連会社は、当該複製又は再配布によって生じる、いかなる第三者に対する責任を一切負いません。
- ☞ 受領者には、必要に応じて、専門的、法律、金融、税務、投資、又はその他の独立したアドバイスを別途取得する必要があります。

MUFG バンク（中国）有限公司 リサーチ&アドバイザー一部 中国ビジネスソリューション室